

慢性子宮内膜炎の診断と治療

Point

- ①慢性子宮内膜炎は、子宮の内側を覆う子宮内膜に、原因となる菌が持続的に炎症を起こしている病気です。
- ②慢性子宮内膜炎は、胚移植(*1)を繰り返しても妊娠しない「反復着床障害」の主な原因になっていることが、最近の研究で明らかになっています。
- ③慢性子宮内膜炎の検査として、子宮内膜の組織診や子宮鏡検査が行われています。
- ④慢性子宮内膜炎を抗菌薬により治療することで、体外受精(*2)・胚移植の成績が改善する可能性があることがわかってきています。

慢性子宮内膜炎とは？

慢性子宮内膜炎とは、子宮内膜に、大腸菌やクラミジア、淋菌、ウレアプラズマなどの菌が持続的に感染し、慢性炎症を起こす病気です¹⁾。

異常なおりものや不正性器出血、下腹部痛などの症状がある場合もありますが、多くの場合は無症状です。そのため、検査をして初めて、慢性子宮内膜炎が判明する患者さんが多いことがわかっています²⁾。

反復着床障害の人では、慢性子宮内膜炎の頻度が高い

体外受精で得られた良い受精卵(胚)を、子宮に何度移植しても妊娠しない状態を「反復着床障害」といいます。反復着床障害は検査をしても原因が不明であることが多いため、妊娠のために胚移植を繰り返すしか方法がない、と追い詰められる患者さんもいます。最近では、症状がない反復着床障害の患者さんに、慢性子宮内膜炎の頻度が高い可能性が指摘されています³⁻⁶⁾。

慢性子宮内膜炎の検査

慢性子宮内膜炎の検査には、子宮内膜の組織診や子宮鏡検査などが行われます。組織診とは、子宮内膜組織の一部を採取し、「染色」という処理をして顕微鏡で異常な炎症細胞の有無を調べる検査です。慢性子宮内膜炎では、子宮内膜に炎症細胞(CD138陽性細胞)が生じるため、「CD138免疫染色法」という診断方法が用いられます⁷⁾。

子宮鏡検査は、子宮の中に細いカメラを入れて子宮内を観察する検査で、外来で行います。慢性子宮内膜炎の場合、子宮内膜が赤くなる、むくむ、などの症状のほか、微細なポリープが見られます⁸⁾。

慢性子宮内膜炎の治療

慢性子宮内膜炎の治療には、抗菌薬が使用されます⁶⁾。反復着床障害の人が、慢性子宮内膜炎が見つかり抗菌薬で治療した場合、治療しなかった患者さんと比べて妊娠率や妊娠が維持できる確率が高いとい

う報告があり、反復着床障害の治療としても期待されています。

東京大学医学部附属病院では、2016年に反復着床障害の専門外来を開設し、反復着床障害の原因を調べるスクリーニング検査(*3)を行っています。その結果、2021年6月までに外来を受診した反復着床障害の患者さんの46%が、慢性子宮内膜炎と診断されました。慢性子宮内膜炎と診断された人に抗菌薬治療を行ったところ、その後の不妊治療での妊娠率が高い傾向がみられました。慢性子宮内膜炎に対する抗菌薬の治療は、妊娠率を改善する可能性があると考えられています。

用語解説

*1:胚移植

胚移植は、体外受精の後に、妊娠を目的として受精卵(胚)を子宮に戻すこと。採卵した周期に胚に戻す「新鮮胚移植」と、胚を一度凍結させ、別の周期に融かして子宮に戻す「凍結融解胚移植」がある。

*2:体外受精

体外受精とは、卵巣に直接針を刺して卵子を回収(採卵)し、体外で卵子と精子を受精させた後、受精卵(胚)を培養皿の中で成熟させること。

*3:スクリーニング検査

簡便な検査により、集団の中から特定の病気が疑われる人を選び出す検査。

【参考文献】

- 1) Cicinelli E, et al.: Prevalence of chronic endometritis in repeated unexplained implantation failure and the IVF success rate after antibiotic therapy. Hum Reprod. 30(2):323-330, 2015. doi:10.1093/humrep/deu292
- 2) Vitagliano A, et al.: Effects of chronic endometritis therapy on in vitro fertilization outcome in women with repeated implantation failure: a systematic review and meta-analysis. Fertil Steril. 110(1):103-112, e1, 2018. doi:10.1016/j.fertnstert.2018.03.017
- 3) Kitaya K, et al.: Live birth rate following oral antibiotic treatment for chronic endometritis in infertile women with repeated implantation failure. Am J Reprod Immunol. 78(5), 2017. doi:10.1111/aji.12719
- 4) Johnston-MacAnanny EB, et al.: Chronic endometritis is a frequent finding in women with recurrent implantation failure after in vitro fertilization. Fertil Steril. 93(2):437-441, 2010. doi:10.1016/j.fertnstert.2008.12.131
- 5) Cicinelli E, et al.: Chronic endometritis in patients with unexplained infertility: Prevalence and effects of antibiotic treatment on spontaneous conception. Am J Reprod Immunol. 79(1), 2018. doi:10.1111/aji.12782
- 6) Kasius JC, et al.: The reliability of the histological diagnosis of endometritis in asymptomatic IVF cases: a multicenter observer study. Hum Reprod. 27(1):153-158, 2012. doi:10.1093/humrep/der341
- 7) Huang W, et al.: Variation of diagnostic criteria in women with chronic endometritis and its effect on reproductive outcomes: A systematic review and meta-analysis. J Reprod Immunol. 140:103146, 2020. doi:10.1016/j.jri.2020.103146
- 8) Cicinelli E, et al.: Unified diagnostic criteria for chronic endometritis at fluid hysteroscopy: proposal and reliability evaluation through an international randomized-controlled observer study. Fertil Steril. 112(1):162-173, e2, 2019. doi:10.1016/j.fertnstert.2019.03.004